

商工会議所による交流・観光プロモーション ～鳥取県倉吉商工会議所青年部の取組み～

ソウル事務所

東日本大震災以降、訪日外国人旅行者数が減少する中、日本は危険であるとのイメージの払拭・魅力の更なるアピールを目的として、民・官により様々な取組みが行われています。

2011年6月10日(金)から12日(日)にかけて、鳥取県の倉吉商工会議所の青年部が訪韓し、仁川商工会議所との交流や、ソウルの繁華街での街頭PR活動等を行いました。

韓国で行われた日本の民間団体による経済活動の様子を紹介いたします。

1 仁川商工会議所との交流(6月10日)

鳥取県観光PRビデオの上映のほか、倉吉市の観光地及び特産品の説明等が行われました。

韓国ドラマ「アテナ」のロケ地となった白壁土蔵群、日本有数の温泉地である三朝温泉等の説明に、仁川商工会議所の方は熱心に耳を傾けていました。併せて、松葉ガ二等、倉吉・鳥取の食が安心・安全であるPRも行われました。



交流会全体の様子



会長同士による挨拶

仁川商工会議所からは、約5万の会員企業に配布している月刊誌に「鳥取県、倉吉市を紹介したい」、さらには「次はこちらが倉吉を訪問したい」との申し出もありました。

一つの交流が、様々な経済交流へとつながっていく期待感が強く感じられ、普段接することの少ない、このような民間団体同士の交流に大変新鮮さを覚えました。

2 観光プロモーション活動(6月11日)

韓国一の繁華街であるソウル市の明洞(ミョンドン)において、鳥取観光の街頭PR活動が行われました。訪問団の25名全員がそろいのTシャツを着用し、「日本、鳥取において下さい。」と各自学んだ韓国語で声をかけながら、鳥取県の観光PRパンフレット、倉吉の韓国人旅行客用飲食店マップ、韓国ドラマ「アテナ」ロケ地紹介・バスツアー案内チラシ等を配布しました。

パンフレットを受け取った方の多くが、すぐにパンフレットを広げて見入っていたのが印象的で、「鳥取は韓国ドラマアテナのロケ地になりました。」と紹介すると、「鳥取を知ってますよ。」と言った反応や、逆に「鳥取ってどこにあるんですか？」と言った質問を受ける事もありました。

着用したTシャツ等をネタに交えながら会話し、大変興味を持ってもらえたケースも多く、韓国の方々に鳥取をPRするよい機会になったと思います。

その他、韓国の旅行会社も訪問し、観光PRが行われました。



街頭PRの様子



鳥取・倉吉をPRするTシャツ

3 おわりに

クレアソウル事務所も、倉吉商工会議所青年部の皆様と意見交換をさせていただきましたが、「地元を盛り上げるため、韓国から来る観光客を少しでも増やしたい。何か新しい企画を考えたい」「韓国に物を売り込みたいが、どういったものが今うけているのか」等といった話で持ちきりでした。

皆様熱意がある方々ばかりで圧倒されてしまいました。現地にいる駐在員として、最新の情報を常に入手し、様々な情報に幅広くアンテナを張っておく必要があることを再確認しました。

今回の取組みに同行する機会を与えていただいた倉吉商工会議所青年部の皆様に感謝申し上げます。

(上田所長補佐 鳥取県派遣)